令和４年度　社会福祉法人来夢　事業報告

〈基本理念〉

互いを思いやり　安心して　ともに生きる

１　互いをかけがえのない存在として、思いやりと助け合いの精神

を大切にします。

２　ともに生きるという理念のもと、自由な自己実現を願い、共生

社会の実現に貢献します。

３　安心・安全をコンセプトに、参画・協働・連携して、多角的な

視点により事業を展開します。

Ⅰ　法人運営

１　事業概要

運営する３か所の生活介護事業と共同生活援助事業、相談支援事業については、提供する福祉サービスの質の向上を図り、利用者のニーズに応えられるように地域福祉の推進に努めてきましたが、度重なる新型コロナウイルス感染により生活介護事業所、共同生活援助事業所ともに幾度となくサービスの提供を制限するなど、１年をとおして工夫・苦慮して活動を継続しました。

２　成果と課題

　法人および事業所の運営にあたっては、新型コロナウイルス感染の対応に迫られた１年間でしたが、利用者の主体性を大切にした活動の充実と、運営会議および委員会活動等をとおして職員の育成を図ることを柱にすすめました。

事業計画では重点施策として、経営基盤を強化、人材育成体制を整備、相談支援事業の強化、事業用地の取得検討、事務機能の効率化・一元化等を掲げて取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染の対応に追われて、事務機能の強化以外の取り組みは不十分もしくは未達となっています。

　事務機能の効率化等については、年度途中に事務担当職員の増員を図るとともに事務処理方法を見直すなど体制の整備を進めています。また相談支援事業については、未経験の相談員が少しずつ相談支援のニーズに応えられるようになり、今後も研鑽を重ねていくことが求められます。

　人材育成については、人材確保に苦慮する中、共同生活援助と短期入所事業の利用を一部制限するなどの対応に追われ、人材育成の体制を整備するまでには至りませんでした。また事業用地取得については諸事情により経営会議等で検討することはなく、次年度以降の課題となります。

３　評議員会・理事会・評議員選任・解任委員会の開催状況

（１）評議員会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催時期 | 議決・報告事項 |
| 第１回令和４年６月１８日 | 第１号議案　令和３年度計算関係書類について第２号議案　次期役員の選任について報告事項１．令和３年度事業報告について　　　　２．特定非営利活動法人来夢財産処分について |
| 第２回令和５年３月２４日 | 報告事項１．令和５年度事業計画について　　　　２. 令和５年度資金収支予算について　　　　３．評議員の交代、選任について |

（２）理事会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催時期 | 議決・報告事項 |
| 第１回令和４年６月３日 | 第１号議案　令和３年度事業報告について第２号議案　令和３年度計算関係書類について第３号議案　令和４年度第１回補正予算について第４号議案　次期役員の選任案について第５号議案　定時評議員会の招集について報告事項１．職務執行状況の報告について報告事項２．特定非営利活動法人来夢財産処分について |
| 第２回令和４年６月１８日 | 第１号議案　理事長選任について |
| 第３回令和５年３月１０日 | 第１号議案　職員就業規程の一部改正について第２号議案　給与規程の一部改正について第３号議案　臨時職員就業規程の一部改正について第４号議案　令和４年度補正予算について第５号議案　令和５年度事業計画について第６号議案　令和５年度資金収支予算について第７号議案　評議員会の招集について第８号議案　評議員選任・解任委員会の招集、および同委員会に推薦する評議員候補者について第９号議案　評議員選任・解任委員の選任について報告事項１．職務執行状況の報告について報告事項２．令和４年度予備費流用状況について |
|  |

（３）評議員選任・解任委員会

|  |  |
| --- | --- |
| 令和５年３月１５日 | 第１号議案　評議員の選任について報告事項　　評議員選任・解任委員の交代、選任について |

４　監査

（１）監事監査

令和４年５月３０日に法人の監事２名による監査を実施し、適正に執行されていることが確認されました。

（２）社会福祉法人指導監査

令和４年度の指導監査は、８月２４日に実施され、指摘事項はありませんでした。

（３）障害福祉サービス事業所実地指導

令和４年度の実地指導は、８月２２日に実施され、指摘事項は以下のとおりです。なお指摘を受けた事項については、即時に改善を図り報告済みです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 番号 | 指摘事項の内容 |
| 生活介護　　共同生活援助 | １ | 身体拘束等の適正化のために、従業者に対し研修を定期的（年１回以上）に実施し記録を残すこと。（共通） |
| ２ | 虐待の防止のために、従業者に対し研修を定期的（年１回以上）に実施し記録を残すこと。（共通） |
| ３ | 　看護師等により利用者の健康状態の把握や健康相談等が実施され、必要に応じ医療機関への通院等により対応することを前提として医師を配置しない取扱いとする場合、医師未配置減算を適用すること。（生活介護） |
| ４ | 　指定生活介護事業所ごとに、原則として月ごとの勤務表を作成し、従業者の日々の勤務時間、常勤・非常勤の別、管理者との兼務関係等を明確にすること。（生活介護） |
| ５ | 　報酬告示第６の７の２のロの重度障害者支援加算（Ⅱ）が算定されている指定生活介護事業所において、個別支援の加算を算定する場合、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）修了者１名以上を４時間分追加配置すること。（よつば工房） |

５　経営会議等の開催状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会議・委員会 | 開催数 | 人数 | おもな内容 |
| 経営会議 | 　５回 | ７人 | ・法人経営、事業所の運営に関すること・人事、体制に関すること・理事会・評議員会の開催について・中長期計画、施設整備計画について・危機管理・人財育成・人権擁護委員会に関すること・相談支援事業所サポートらいむについて・新型コロナウイルス関連について |
| 運営会議 | １１回 | １１人 | ・事業所の運営に関すること・利用者支援全般に関すること・行事全般について・危機管理・人財育成・人権擁護委員会に関すること・職員の研修・育成に関すること・実地指導について・今後の運営について・新型コロナウイルス関連について |
| 危機管理委員会 | ３回 | ８人 | ・１７１災害伝言ダイヤル防災訓練について・事故防止及び発生時対応マニュアルの整備、確認・事業所内外の安全確認と耐震対策の検討・労働安全衛生管理状況表のチェック、確認・防災・感染症対策について・総合防災訓練について・連絡網の確認・利用者・職員の健康診断について |
| 人財育成委員会 | ３回 | ９人 | ・法人機関誌について・ホームページの更新・ブログについて・職員研修について・らいむまつりについて |
| 人権擁護委員会（虐待防止委員会） | ２回 | ８人 | ・利用者自治会活動報告について・職員親睦会規約の検討、確認・各規程（苦情解決・虐待防止・身体拘束・ハラスメント防止）の検討見直し、確認・クラブ活動について |

※アクシデント・インシデントレポートの検証

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所 | レポート | 件数 | おもな内容・解決策等 |
| つばさ工房 | インシデント | １件 | 送迎車両が事業所玄関前に到着後、利用者が単独で降車して所内に入ること（所内に入らず外に出て行き事故等に合う可能性がある）　→　大丈夫と思われる利用者であっても事故防止のため、職員が降車支援を実施する。 |
| アクシデント | １１件 | 職員が他の利用者の不適切な行動を注意したところ、その声に反応して当該利用者を押し倒してしまう　→　職員が注意する言葉に反応しやすい利用者という特性を改めて共有して、声かけの声のトーンや大きさ等を工夫するとともに状況に注意を払う。 |
| よつば工房 | インシデント | １８件 | 事業所敷地で空き缶リサイクル作業後、利用者は所内に入ったが、しばらくの間、室内に職員不在の状態があり、利用者各々が手洗いや着替えをしていた　→　室内で受け入れる職員と外の片づけをする職員の連携不足が原因なので、役割を確認する声をかけ合うこと。 |
| アクシデント | ２５件 | 事業所近くの公園で活動中に、利用者１名が一人で事業所に戻ってしまったことに職員が気づかなかった（事業所の職員の電話あり）　→　公園内での見守り、トイレ利用支援に気をつける。「○○にいる。一人でトイレに行ける」との思い込みで見守り支援の目が離れることに注意する。 |
| 実結の森 | インシデント | ５件 | 歩行活動から事業所に戻ったとき、通常の敷地入り口ではなく勾配のある植え込みから入ろうとして転倒する　→　街路歩行時の交通安全支援と同様に所内に入るまで見守り支援に注意する。 |
| アクシデント | ５件 | 公園での活動時、一人でボール遊び中に遠くに転がったボールを追いかけて、コンクリートの通路で体勢を崩して転倒する　→　歩行にふらつきが見られる利用者の支援を工夫する。他の利用者や職員といっしょに活動するなど。 |
| 来夢の家 | インシデント | ２件 | 高いところの物を取ろうとして丸椅子に乗ろうとする（声をかけてやめてもらう）　→　自分でやりたいとの気持ちを尊重しながら「何かあれば職員に声をかけてください」との対応と、物の配置を見直するなど安全に暮らすことができるように工夫する。 |
| アクシデント | ５件 | 利用者が事業所出勤のために２階から１階に下りる途中で尻もちをついているのを発見する（本人の話で転倒したとのこと…転倒時にぶつけたため左腰・左足にあざができる）　→　通常は職員といっしょに降りているので、再度「職員といっしょに降りましょうね」と声をかける。（当時は、職員が他の利用者の排泄支援をしていた）あわせて履物が足にあっているか確認する。 |
| サポートらいむ | インシデント | ０件 |  |
| アクシデント | ０件 |  |

※県・市に報告した事故はありませんでした。

６　職員研修

（１）内部研修

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 実施日 | 内容 | 講師・係等 | 対象者 |
| １ | １１月２日、２３日、１２月１６日 | 虐待防止研修 | 田原授産所施設長鎌田博幸氏 | 法人全職員 |

（２）外部研修

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 実施日 | 内容 | 団体・講師等 | 対象者 |
| １ | ４月２２日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ２ | ５月２０日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ３ | ６月１０日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ４ | ７月８日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ５ | ８月１日 | 全国知的障害関係施設長会議（オンデマンド配信） | 日本知的障害者福祉協会 | 管理者１名 |
| ６ | ９月１３日 | 精神障害者についての理解の研修（リモート） | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ７ | ９月１８日 | 発達障害とてんかん研修（オンライン） | 愛知県自閉症協会 | 生活支援員１名 |
| ８ | １０月７日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| ９ | １０月８日 | 「自閉症の方のパニックをゼロにする１２の方法」研修（オンライン） | 愛知県自閉症協会・つぼみの会 | 管理者１名 |
| 10 | １０月１４日 | アンガーマネージメント研修（オンライン） | 東三セルプ田原授産所鎌田博幸氏 | 生活支援員１名 |
| 11 | １０月１７日～１８日 | 東海地区知的障害関係施設職員研究大会 | 愛知県知的障害者福祉協会 | 生活支援員１名 |
| 12 | １０月２８日 | スーパービジョン研修（オンライン） | 愛知県社会福祉協議会 | 生活支援員１名 |
| 13 | １１月７日 | 安全運転管理者講習 | 愛知県公安委員会 | 生活支援員１名 |
| 14 | １１月２９日 | サービス管理責任者更新研修（オンライン） | 愛知県 | 管理者１名 |
| 15 | １２月９日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 16 | １月２０日 | 相談支援専門員研修 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 17 | ２月８日～９日 | 令和４年度愛知県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（実践研修） | 愛知県社会福祉協議会福祉人材センター | 主任生活支援員１名、副主任生活支援員１名 |
| 18 | ２月１０日 | 相談支援専門員研修（オンライン） | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 19 | ２月１８日 | 東三河子どもの発達を考える会（オンライン） | 日本精神神経科診療所協会 | 生活支援員１名 |

７　職員の健康管理等

「安全衛生委員会及び健康・保健衛生に関する要綱」にそって対応しました。

（１）健康診断の実施

全職員が定期健康診断を受診しました。再検査等の指摘を受けた職員に対しては個々に対応しています。

（２）メンタルヘルスの対応等

メンタルヘルス不調を未然に防止するため、適時の職員面談を実施しました。また厚生労働省が提供する「こころの耳（職場のストレスセルフチェック）」の利用を推奨し、職員によるセルフチェックの機会を設け支援しました。

（３）労働災害

人数：２名

内訳：興奮した利用者の支援中に腕をかまれる。

　　　　　興奮した利用者に下腹部および太ももをけられる。

８　利用者の健康管理等

利用者の健康管理等のため、健康診断の実施や感染症対策等をすすめました。

（１）健診および診察

（２）感染症について

①インフルエンザ等の感染症対策

　・インフルエンザワクチン接種の支援（嘱託医接種）

・事業所内の換気・空間除菌の実施

・手洗いの励行、アルコール消毒、お茶の飲用等

②新型コロナウイルス感染対策

・簡易抗原検査の実施

・新型コロナウイルスワクチン接種の支援（嘱託医接種）

③新型コロナウイルス感染による事業所の休業・自粛等

　・つばさ工房、よつば工房、実結の森、来夢の家

９　第三者評価

令和４年度は、第三者評価を受審した事業所はありませんでした。

１０　苦情解決

令和４年度は、苦情解決に該当する事案はありませんでした。

Ⅱ　事業所運営

つばさ工房（生活介護事業所）

１　事業概要

障害者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行います。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行います。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。

新型コロナウイルスの感染の広がりにより、事業所でのサービス提供を控え家庭活動支援にて対応することもありました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。また感染対応のため、一部の外出行事を控えました。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

体力作り活動は、個々の利用者の状況に対応することが増えたことにより、全体での活動や距離は少なくなっています。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習　　②エアロビクス・レクリエーション

③自治会活動　　④クラブ活動　　⑤送迎支援

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 |  | 10月 |  |
| ５月 |  | 11月 |  |
| ６月 | 毛筆展見学 | 12月 | らいむまつり、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 書初め展見学、健康診断、新年会・成人を祝う会 |
| ８月 | 夏祭り |
| ９月 |  | ２月 | 節分豆まき、梅花見 |
|  | ３月 | 桜花見 |

３　成果と課題

利用者支援のベースとなる集団作り（体制整備）に苦戦した１年でした。利用者の仲間意識と安心できるサポート、作業活動は一人一人に応じた対応が提供でき、一定の成果を得られました。しかしながら、戸外での活動や行事までは力が及ばず、その機会も増やせませんでした。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ボランティア | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

７　苦情解決

令和４年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和４年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 192 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 20 | 23 | 269 |
| 延べ人数 | 339 | 343 | 346 | 343 | 317 | 341 | 346 | 335 | 353 | 340 | 299 | 352 | 4,054 |
| 1日平均 | 15.4 | 14.9 | 15.7 | 14.9 | 13.8 | 15.5 | 15.0 | 15.2 | 15.3 | 14.8 | 15.0 | 15.3 | 15.1 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和５年３月３１日現在）　※平均：３２．８歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 4 | 3 | 2 | 0 | 9 |
| 女 | 0 | 2 | 4 | 0 | 1 | 7 |
| 計 | 0 | 6 | 7 | 2 | 1 | 16 |

・障害支援区分別（令和５年３月３１日現在）　※平均：５．６

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | 0 | 4 | 5 | 9 | 7 |
| 女 | 0 | 0 | 3 | 4 | 7 | 2 |
| 計 | 0 | 0 | 7 | 9 | 16 | 9 |

よつば工房（生活介護事業所）

１　事業概要

障害者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行います。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行います。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。

新型コロナウイルスの感染の広がりにより、事業所でのサービス提供を控え家庭活動支援にて対応することもありました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。

感染対策も兼ねて個別外出の機会を充実させて、利用者の心身のリフレッシュを図りました。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習、②エアロビクス・レクリエーション、③自治会活動、④クラブ活動、⑤送迎支援

自治会では、誕生日プレゼントの取り組みを工夫し、習字クラブでは、「みんなのアート展」を始め各所への作品展示の機会を設けるなど、利用者主体の活動の充実を図りました。

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 | 桜花見 | 10月 | 秋遠足 |
| ５月 | 春遠足、美化活動（５３０運動） | 11月 |  |
| ６月 | 毛筆展見学 | 12月 | らいむまつり、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 書初め展見学、初詣・新年会、健康診断 |
| ８月 |  | ２月 | 節分豆まき |
| ９月 |  | ３月 | 梅花見 |

３　成果と課題

（１）新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、一人一人に応じた活動が提供できました。

（２）強度行動障害の方やこだわりの強い方に対しては、落ち着いた環境で職員とマンツーマンで食事したり、気分の高ぶりを解消するために個別支援室を活用しました。

（３）愛知県共同募金会より施設整備（車両購入）の助成を受け、８人乗り福祉車両（車いす仕様）を購入しました。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 8 |
| ボランティア | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 11 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

７　苦情解決

令和４年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和４年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 233 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 20 | 23 | 269 |
| 延べ人数 | 384 | 427 | 420 | 434 | 414 | 380 | 396 | 356 | 395 | 397 | 345 | 396 | 4,744 |
| 1日平均 | 17.5 | 18.6 | 19.1 | 18.9 | 18.0 | 17.3 | 17.2 | 16.2 | 17.2 | 17.3 | 17.3 | 17.2 | 17.6 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和５年３月３１日現在）　※平均：３７．５歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 1 | 6 | 7 | 0 | 14 |
| 女 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 5 |
| 計 | 0 | 2 | 8 | 9 | 0 | 19 |

・障害支援区分別（令和５年３月３１日現在）　※平均：４．９

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 1 | 3 | 6 | 4 | 14 | 9 |
| 女 | 0 | 3 | 0 | 2 | 5 | 2 |
| 計 | 1 | 6 | 6 | 6 | 19 | 11 |

実結の森（生活介護事業所）

１　事業概要

障害者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行います。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行います。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。新型コロナウイルスの感染の広がりにより、予定していた行事を延期もしくは中止したり、事業所でのサービス提供を控え家庭活動支援にて対応することもありました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。また感染対応のため、一部の外出行事を控えましたが、らいむまつりや節分行事で事業所のオリジナル企画を工夫して出し物に寸劇を取り入れるなど、マンネリ化を脱却するように取り組んでいます。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。ただ授産収入につながるシフォンケーキなどの製菓作りは取り組めませんでした。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習、②エアロビクス・レクリエーション、③自治会活動、④クラブ活動、⑤送迎支援

自治会の活動内容でお弁当の日の内容選びや、誕生日プレゼント渡しは、活動を通して意見を話し合う場となり利用者間の親睦を深める機会となり、行事の楽しみも増していました。

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 | 桜花見 | 10月 | 秋遠足 |
| ５月 | 春遠足、利用者歓迎会、美化活動（５３０運動） | 11月 |  |
| ６月 | 毛筆展見学 | 12月 | らいむまつり、クリスマス会、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 初詣、お楽しみ会、書初め展見学、健康診断 |
| ８月 |  | ２月 | 節分豆まき |
| ９月 | 夏祭り（縁日） | ３月 | 春遠足 |

３　成果と課題

（１）新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、一人一人に応じた活動が提供できました。

（２）職員の休職や退職等が重なり、当初の計画から支援方法を工夫し直した活動が増えましたが、支援目標を変更することなく取り組むことができました。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ボランティア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

７　苦情解決

令和４年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和４年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 228 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 20 | 23 | 269 |
| 延べ人数 | 347 | 361 | 347 | 363 | 346 | 356 | 361 | 364 | 362 | 335 | 315 | 377 | 4,234 |
| 1日平均 | 15.8 | 15.7 | 15.8 | 15.8 | 15.0 | 16.2 | 15.7 | 16.5 | 15.7 | 14.6 | 15.8 | 16.4 | 15.7 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和５年３月３１日現在）　※平均：４３．３歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 2 | 4 | 2 | 3 | 11 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 8 |
| 計 | 0 | 2 | 5 | 5 | 7 | 19 |

・障害支援区分別（令和５年３月３１日現在）　※平均：４．８

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | 4 | 2 | 5 | 11 | 5 |
| 女 | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 | 2 |
| 計 | 2 | 6 | 4 | 7 | 19 | 7 |

来夢の家（共同生活援助事業所・短期入所事業所）

１　事業概要

障害者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行います。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行います。【対象者：１８歳以上の障害者、定員１４名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。ただ新型コロナウイルスの感染の広がりにより、事業所でのサービス提供を控え家庭での生活にて対応する等、事業所運営に影響を及ばしたことは否めませんでした。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、入浴、夜間生活、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

四季折々のイベントを中心に楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を身につけられるよう支援しました。ただ感染対策と予防のため計画していた外出行事は取り止めています。

（３）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

（４）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 |  | 10月 |  |
| ５月 | 端午の節句 | 11月 |  |
| ６月 |  | 12月 | 冬至、クリスマス会、忘年会 |
| ７月 | 七夕、土用の丑 | １月 | 初詣、新年会 |
| ８月 |  | ２月 | 節分豆まき |
| ９月 |  | ３月 | ひな祭り |

　※誕生者該当月に誕生日会実施

３　短期入所事業　受け入れ実績

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 延べ人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |

４　成果と課題

（１）夜勤支援という業務の特殊性もあり、求人の難しさから職員配置が不足し、年度途中から週末帰省を延長する形での運営となり、利用者に不便と心配をかけた１年でした。

（２）短期入所事業は、利用者のニーズは高いものの、職員不足もあり利用希望に応えられなかったため、令和５年度は運営に十分な職員が確保できるまで短期入所事業を休止する方向です。

５　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

６　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ボランティア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

７　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

８　苦情解決

令和４年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

９　虐待防止

令和４年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

１０　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 168 |
| 開所日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 |
| 延べ人数 | 414 | 411 | 414 | 406 | 269 | 371 | 399 | 351 | 363 | 352 | 364 | 390 | 4,504 |
| 1日平均 | 13.8 | 13.3 | 13.8 | 13.1 | 8.7 | 12.4 | 12.9 | 11.7 | 11.7 | 11.4 | 13.0 | 12.6 | 12.3 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和５年３月３１日現在）　※平均：４６．５歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | 7 | 3 | 10 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 4 |
| 計 | 0 | 0 | 1 | 9 | 4 | 14 |

・障害支援区分別（令和５年３月３１日現在）　※平均：５．４

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | 2 | 4 | 4 | 10 | 6 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 2 |
| 計 | 0 | 2 | 5 | 7 | 14 | 8 |

サポートらいむ（相談支援事業所）

１　事業概要

障害のある人、または就労、子育てに不安がある人の思いに寄り添い、能力や特性に応じて自立したその人らしい生活が送れるように相談支援を実施しました。生活に不安がある人に対しては適切な情報提供等を行い、不安の軽減が図れるように支援しています。

（１）一般相談

（２）計画相談

（３）障害児相談

（４）関係機関との連携による個別支援会議及びサービスの調整

（５）地域ニーズの把握と課題の解決

２　実施内容

（１）サービス等利用計画の作成

　　　　２６件（前年度　０件）

（２）サービスの調整（モニタリング）

　　　　６５件（前年度　０件）

（３）一般相談と関係機関との連携

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 訪問 | 来所 | 同行 | 電話 | 支援会議 | その他 | 合計 |
| 222 | 7 | 1 | 99 | 36 | 213 | 578 |

（４）個別支援会議（担当者会議）の開催

　　　　３６件（前年度　０件）

３　成果と課題

相談支援専門員が少しずつ相談支援のニーズに応えられるようになったが、今後も研鑽を重ねていくことが求められます。また経営状況と利用ニーズの双方に応えられる相談支援事業所のあり方や複数の相談員を配置する等、見直すことも必要となります。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 相談者児数 | 者 | 10 | 15 | 7 | 11 | 16 | 14 | 21 | 12 | 20 | 28 | 24 | 12 | 190 |
| 児 | 4 | 4 | 4 | 19 | 28 | 35 | 29 | 29 | 39 | 35 | 24 | 42 | 292 |
| 合計 | 14 | 19 | 11 | 30 | 44 | 49 | 50 | 41 | 59 | 63 | 48 | 54 | 482 |

Ⅲ　事業報告の附属明細書

令和４年度の事業報告には、定款第３４条第１項第２号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。